

ひかりクラウドPBX

ひかり電話対応転送GW (アイコム SR-7100VN) ファームウェア バージョンアップ手順書

西日本電信電話株式会社
第1.1版

2021年8月6日

作業概要

【はじめに】

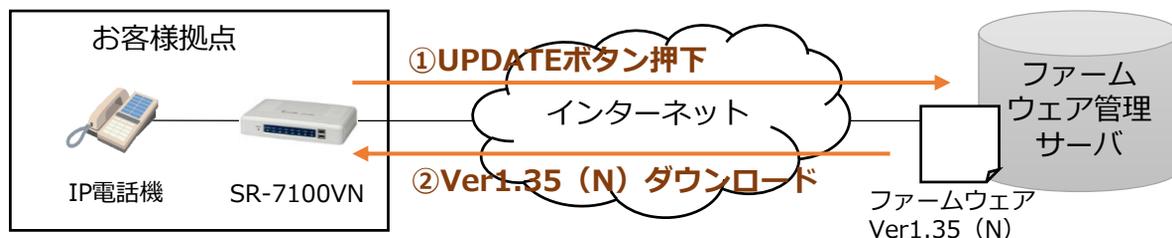
本手順書は、ひかりクラウドPBXサービスをご利用中のお客様向けの、ひかり電話対応転送GW（アイコム SR-7100VN 以下、SR-7100VN）のファームウェアバージョンアップ手順書です。

【バージョンアップ後のファームウェア】
Ver1.35 (N)

注意事項

- バージョンアップ作業中はひかりクラウドPBXサービスがご利用できません。
- バージョンアップ中は絶対にSR-7100VNの電源を切らないでください。
- アクティブ（ACT）機とスタンバイ（SBY）機を切替える※際に、SR-7100VNのケーブル抜き差しが発生しますので、差し間違えが発生しないよう事前に十分ご確認ください。
※スタンバイ機をお持ちの方のみ

【バージョンアップの構成イメージ】



SR-7100VNからファームウェア管理サーバ（以降、サーバと記載）に対してアップデート要求を行い、サーバからファームウェア（Ver1.35 (N)）をダウンロードしてきます。

前提条件	<ol style="list-style-type: none">作業は、SR-7100VNがオンライン状態（インターネット接続）で実施する必要があります。 ※オンライン状態でない場合、再起動しオンライン状態になったことを確認してから実施してください。お客様拠点からサーバ（任意のIPアドレス）に対してHTTP通信（TCP/ポート80）が可能である必要があります。
事前準備	<ol style="list-style-type: none"><UPDATE> ボタンを押下するために、ペン先や爪楊枝のような細長いものをご用意ください。 ※押下イメージ ひかりクラウドPBX「Web設定変更」ページへログインする環境をご準備ください。<ul style="list-style-type: none">-インターネット接続できるPC（ブラウザはInternet Explorer推奨）-ビジネスポータルログイン情報-ひかりクラウドPBX「Web設定変更」ページのログイン情報

作業全体の流れ

1. ケーブル接続状態の確認 (ACT機) P.3~4

2. アップデート実施 (ACT機) P.5

3. アップデート後作業 P.6

4. ACT機→SBY機 交換 (SBY機をお持ちの方のみ) P.7

5. アップデート実施 (SBY機) (SBY機をお持ちの方のみ) P.8

6. アップデート後作業 (SBY機をお持ちの方のみ) P.9

7. SBY機→ACT機 交換 (SBY機をお持ちの方のみ) P.10

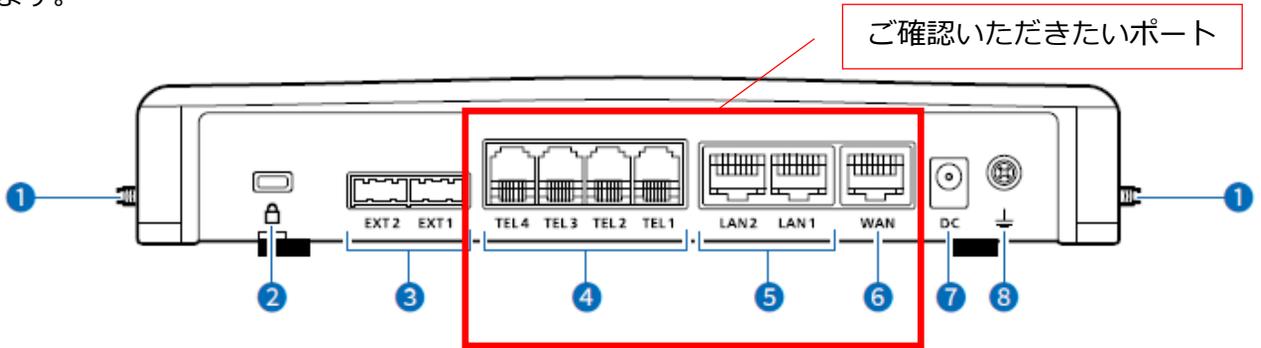
8. 最終動作確認 (機器交換作業を行った方のみ) P.11

1. ケーブル接続状態の確認 (ACT機)

まず始めに、SR-7100VN (ACT機) のケーブル接続状態を確認してください。SBY機のアップデートを行う際に、ACT機からSBY機へケーブルの差替えを行いますので、元の構成に戻せるように最初の状態の確認を行います。

1-1 SR-7100VN (ACT機) の各ポートについて

各ポートの説明は以下の通りです。ひかりクラウドPBXでご利用のポートは以下の④～⑥になります。



[図 : SR-7100VN後面部]

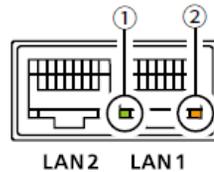
- ④ [TEL] (1～4)ポート…………… (RJ-11型×4)

アナログ電話機やG3ファクシミリを接続します。

- ⑤ [LAN] (1/2)ポート …………… (RJ-45型×2)

HUBなどのネットワーク機器と接続します。

ランプ表示



- 点灯 : LAN接続時
- 点滅 : LANデータ通信中
- ① 緑色 : 1000BASE-T時
- ② 橙色 : 10BASE-T/100BASE-TX時

LAN2 LAN1

- ⑥ [WAN]ポート…………… (RJ-45型×1)

ADSL、VDSL、CATVでお使いのブリッジタイプモデム、またはFTTHでお使いの回線終端装置と接続します。

ランプ表示



- 点灯 : WAN接続時
- 点滅 : WANデータ通信中
- ① 緑色 : 1000BASE-T時
- ② 橙色 : 10BASE-T/100BASE-TX時

WAN

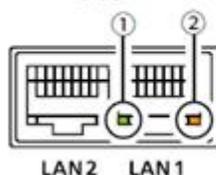
1. ケーブル接続状態の確認 (ACT機)

1-2 ランプ状態確認

[WAN]ポート、[LAN]ポートについては、ケーブルが接続されているポートのランプ状態も控えておいてください。(ランプ状態は下記を参考)

[LANポート]

ランプ表示



- 点灯: LAN接続時
- 点滅: LANデータ通信中
- ①緑色: 1000BASE-T時
- ②橙色: 10BASE-T/100BASE-TX時

[WANポート]

ランプ表示



- 点灯: WAN接続時
- 点滅: WANデータ通信中
- ①緑色: 1000BASE-T時
- ②橙色: 10BASE-T/100BASE-TX時

2. アップデート実施 (ACT機)

ACT機のアップデート作業を実施します。

2-1 [MSG]ランプ、[WAN]ランプの確認

SR-7100VNの[MSG]ランプと[WAN]ランプが緑点灯していることを確認します。

※その他のランプ状態はお客様によって異なります。

※前面部の[MSG]ランプと[WAN]ランプが緑点灯以外の状態の場合は、転送GWを再起動し、緑点灯になったことを確認してください。

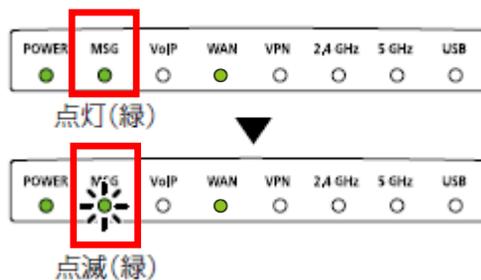
[MSG]ランプ
緑点灯：ファームウェア更新ファイルあり
[WAN]ランプ
緑点灯：WAN接続完了



[図：SR-7100VN前面部]

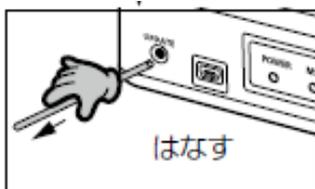
2-2 <UPDATE> ボタン押下

[MSG]ランプが ● 点灯 (緑) から ☀ 点滅 (緑) になるまで<UPDATE> ボタンを押下します。



※10秒程度で点灯 (緑) ⇒点滅 (緑) へ

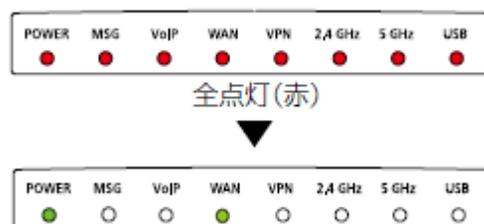
[MSG]ランプが ☀ 点滅 (緑) したことを確認して<UPDATE> ボタンから手を放します。



ファームウェアのダウンロードが開始され、アップデート後に自動で再起動 (約3分程度) を実施します。(お客様ネットワークの帯域によってダウンロードに時間がかかる場合がございます)

注) 再起動が完了するまで絶対に電源を落とさないでください。

一度全点灯 (赤) し、再起動後にランプ再点灯 (緑) になります。



再起動後、緑ランプが再点灯したらアップデートは完了です。

3. アップデート後作業

ACT機のアップデートが完了したら、事後作業を行います。

3-1 「Web設定変更」ページの更新（任意）

別紙2「Web設定変更ページでの更新手順書」を参考に実施してください。

本作業はSR-7100VNをひかりクラウドPBXの内線サーバに登録するための作業です。本作業を実施しなくても、1時間以上経過すれば自動で登録完了しますので、必要に応じて実施してください。

3-2 IP電話機の再起動（任意）

SR-7100VN配下の各IP電話機の再起動を以下、いずれかの手順で実施してください。なお、この手順はアップデート後、早期にIP電話機を利用可能にするための手順です。1時間以上経過すれば自然に利用可能になりますので、必要に応じて実施してください。

【再起動手順（aA1の場合）】

電源のOFF/ONを実施（電源ケーブル/PoEケーブル抜去→電源ケーブル/PoEケーブル接続）

【再起動手順（パナソニック KX-HDV130/230の場合）

以下の電話機キー操作により実施

メニュー > システム設定 > システムオプション > リスタート > はい
（機械音が鳴り、再起動が始まります。）

3-3 動作確認（任意）

IP電話機の再起動までが完了したら、発着信等を行い動作に問題が無いことをご確認ください。

以上で、ACT機のアップデートは完了です。

SBY機をお持ちの場合は、次にSBY機のアップデートを行います。

4. ACT機→SBY機 交換（SBY機をお持ちの方のみ）

SBY機のアップデート作業を行うため、ACT機に接続されているケーブルを抜き、SBY機側に差替えます。

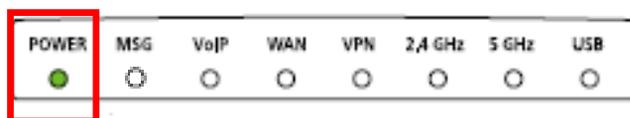
4-1 ACT機のケーブル抜去

SR-7100VNのACT機から、P3 ④～⑥の各ポートに接続されているケーブルをすべて抜きます。④TELポートのケーブルを抜去する際は対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

4-2 SBY機の起動とケーブル接続

SBY機の電源がOFFの場合は1度SBY機の電源をONにしてください。

SBY機が起動し、POWERランプが点灯（緑）になったら起動完了です。



POWERが ● 緑点灯になったら起動完了。

事前に確認いただいたACT機と同じ様に、SBY機にケーブルを接続してください。④TELポートのケーブルを接続する際には対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

4-3 接続状態の確認

ケーブルが正しいポートに接続されていること、[MSG]ランプを除く、その他ポートのランプ状態がACT機と同様であることを確認してください。

5. アップデート実施 (SBY機) (SBY機をお持ちの方のみ)

SBY機のアップデート作業を実施します。ACT機とは[MSG]ランプの状態が異なっている可能性があります。ACT機と同様の手順で実施します。

5-1 [WAN]ランプの確認

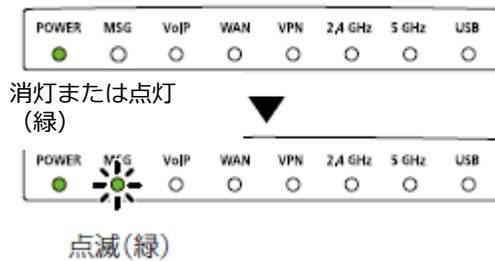
[WAN]ランプが緑点灯していることを確認します。

※[MSG]ランプは消灯でも緑点灯でもどちらでも構いません。SR-7100VNは新ファームの確認を1時間に1回しか行わないため、WANケーブル接続直後はしばらくランプが消灯のままですが、アップデート作業自体は可能です。



5-2 <UPDATE> ボタン押下

[MSG]ランプが ○ 消灯または ● 点灯 (緑) から ☀ 点滅 (緑) になるまで <UPDATE> ボタンを押下します。



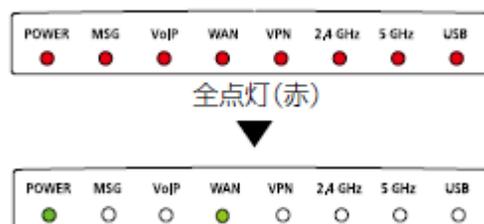
[MSG]ランプが ☀ 点滅 (緑) したことを確認して <UPDATE> ボタンから手を放します。



ファームウェアのダウンロードが開始され、アップデート後に自動で再起動 (約3分程度) を実施します。

注) 再起動が完了するまで絶対に電源を落とさないでください。

一度全点灯 (赤) し、再起動後にランプ再点灯 (緑) になります。



再起動後、ランプが再点灯したらアップデートは完了です。

6. アップデート後作業（SBY機をお持ちの方のみ）

SBY機のアップデートが完了したら、事後作業を行います。

6-1 「Web設定変更」ページの更新（任意）

別紙「Web設定変更ページでの更新手順書」を参考に実施してください。

本作業はSR-7100VNをひかりクラウドPBXの内線サーバに登録するための作業です。本作業を実施しなくても、1時間以上経過すれば自動で登録完了しますので、必要に応じて実施してください。

6-2 IP電話機の再起動（任意）

以下いずれかの手順でSR-7100VN配下の各IP電話機の再起動を以下、いずれかの手順で実施してください。なお、この手順はアップデート後、早期にIP電話機を利用可能にするための手順です。1時間以上経過すれば自然に利用可能になりますので、必要に応じて実施してください。

【再起動手順（aA1の場合）】

電源のOFF/ONを実施（電源ケーブル/PoEケーブル抜去→電源ケーブル/PoEケーブル接続）

【再起動手順（パナソニック KX-HDV130/230の場合）

以下の電話機キー操作により実施

メニュー > システム設定 > システムオプション > リスタート > はい
（機械音が鳴り、再起動が始まります。）

6-3 動作確認（任意）

IP電話機の再起動までが完了したら、発着信等を行い動作に問題が無いことをご確認ください。

以上でSBY機のアップデートは完了です。最後に作業前の接続構成にACT機を戻します。

7. SBY機→ACT機 交換（SBY機をお持ちの方のみ）

ACT機に戻すための作業を行います。

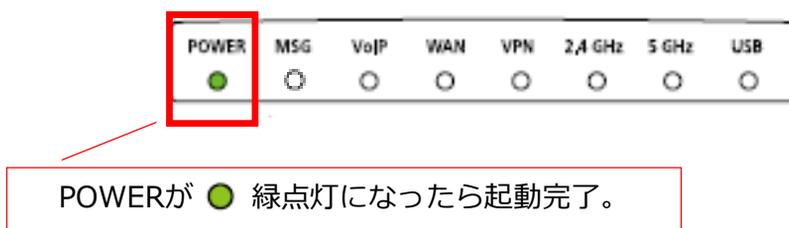
7-1 SBY機のケーブル抜去

SR-7100VNのSBY機から、P3 ④～⑥の各ポートに接続されているケーブルをすべて抜きます。
④TELポートのケーブルを抜去する際には対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

7-2 ACT機のケーブル接続

ACT機の電源がOFFの状態の場合は1度ACT機の電源をONにしてください。

ACT機が起動し、POWERランプが点灯（緑）になったら起動完了です。



事前に確認いただいた通りにACT機にケーブルを接続し、作業開始前の構成に戻してください。
④TELポートのケーブルを接続する際には対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

7-3 接続状態の確認

ケーブルが正しいポートに接続されていること、[MSG]ランプを除く、その他ポートのランプ状態が作業開始前と同様であることを確認してください。

以上で、ACT機への戻し作業は完了です。

8. 最終動作確認（機器交換作業を行った方のみ）

ACT機の戻しが完了したら、最終動作確認を行います。

8-1 「Web設定変更」ページの更新（任意）

別紙2「Web設定変更ページでの更新手順書」を参考に実施してください。

本作業はSR-7100VNをひかりクラウドPBXの内線サーバに登録するための作業です。本作業を実施しなくても、1時間以上経過すれば自動で登録完了しますので、必要に応じて実施してください。

8-2 IP電話機の再起動（任意）

以下いずれかの手順でSR-7100VN配下の各IP電話機の再起動を以下、いずれかの手順で実施してください。なお、この手順はアップデート後、早期にIP電話機を利用可能にするための手順です。1時間以上経過すれば自然に利用可能になりますので、必要に応じて実施してください。

【再起動手順（aA1の場合）】

電源のOFF/ONを実施（電源ケーブル/PoEケーブル抜去→電源ケーブル/PoEケーブル接続）

【再起動手順（パナソニック KX-HDV130/230の場合）

以下の電話機キー操作により実施

メニュー > システム設定 > システムオプション > リスタート > はい
（機械音が鳴り、再起動が始まります。）

8-3 動作確認

「7. SBY機→ACT機 交換」作業終了1時間経過後、または8-1、8-2作業が完了したら、発着信等を行い動作に問題が無いことをご確認ください。

以上で全ての作業が完了です。